

HPV 関連頭頸部癌に対する liquid biopsy の有用性に関する検討

1. 研究の対象

2017 年 6 月以降に「遺伝学的研究にむけた耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域における腫瘍性疾患の臨床検体のバンキング」、「頭頸部領域腫瘍のリスク評価に関するゲノム研究」、「臨床検体を用いた頭頸部腫瘍のゲノム解析とそれを基盤としたリキッドバイオプシーなどの社会実装に関する研究」、「頭頸部癌、主に中咽頭癌および原発不明癌におけるヒトパピローマウイルス感染の解析」という研究題目に対する同意をいただいている頭頸部癌の患者さん

2. 研究目的・方法

ヒトパピローマウイルス (Human papillomavirus: HPV) が原因となる頭頸部癌が増加していますが、現在、それらに対する有用なバイオマーカーは存在しません。近年、血液やうがい液など体液中の遺伝子を解析する Liquid biopsy があらゆる癌腫で研究されています。我々はこの Liquid biopsy の技術を用いて測定されるウイルスの量がバイオマーカーになるか検討したいと考えています。すでに保存している血液やうがい液、唾液中にウイルスがどの程度存在するか調べ、癌の進行度や治療経過との関連を調べます。バイオマーカーが確立されれば、将来的にはそれぞれの患者さんにより適切な治療を提供する個別化治療が可能になると考えています。研究期間は 2027 年 3 月までを予定しています。また、本研究への参加は任意です。参加を希望されない場合は下記までご連絡ください。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

すでに保存している血液やうがい液、唾液と病歴やすでに取得された画像などの情報をこの研究に使わせていただきます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

電話番号：06-6879-3951

担当者：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 森 将史

研究責任者：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 猪原秀典